



視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 鈴木 深由希



下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	 印	経理責任者	 印
視 察 議 員	鈴木 深由希			
期 間	平成 30 年 10 月 15 日（月）			
視 察 先	広島県庁北館第 1 委員会室			
視 察 用 務	広島県女性議員クラブ総会及び研修会			
視察先対応者	井上佐智子会長			
概要及び所見	<p>①子どもの貧困連鎖帽子対策について一県子供未来応援新宅育子部長</p> <p>1. 本来子どもたちは個性に応じて自らが持っている可能性を最大限伸ばして行くことが保障されている。</p> <p>⇒現状の認識（背景）・・・少子化の進行・環境が不十分</p> <p>⇒社会全体の活力の低下・・・格差の固定化・拡大する格差・社会的な分断リスク</p> <p>2. 課題解消に向けた考え方</p> <p>⇒ライフサイクルの早い段階から中長期的な視点により、世代に応じた「一貫した人づくり」に取り組む。</p> <p>⇒安心して妊娠・子育てできる環境整備に向けていつでも誰もが必ず来所する子育て・見守り拠点「ひろしま版ネウボラ」を構築</p> <p>3. 貧困の連鎖防止に向けて～県の推進体制の整備</p> <p>⇒子供にへ直接アプローチする施策</p> <p>⇒学びのセーフティネットの構築</p> <p>⇒確かな学力を身につける為の生活基盤づくり</p> <p>⇒朝ご飯推進モデル事業</p> <p>※市町それぞれの課題により強力が必要</p>			

【所見】

近年、子育てに関する支援が充実してきている反面、認識が欠落した若者が何も考えないで親になっている為、子どもたちにしわ寄せがきていることに憤りを感じている。毎日のように虐待報道がなされることに心を痛めている。いたいけな子供を苦しみから救わなくてはならない、機関の不手際も起きている。この現状から早く抜け出すべく県が打ち出した施策が実行に移され、早く浸透していくことを願う。ひろしま版ネウボラに本市はいち早く手を上げ、実施されている。元々、本市では子育て・女性支援部がしっかり取り組んでいたところから導入はスムーズにいったと敬意を表するところである。しかし、業務量に対する人員不足は否めない。現場の悲鳴も聞こえてくる中、隙間に残されたり、置いてきぼりになる子供が出ないことを願う。「すべての子供が夢を育むことのできる社会づくり」しっかりと推し進めていきたい。

②今後の本県教育の方向性について一県教育委員会 平川理恵教育長
Society1 狩猟社会→Society2 農耕社会→Society3 工業社会→Society4 情報社会に続く新たな時代 Society5 IOT、ロボット、人工知能、ビッグデータ等の先進技術を活用することで、新たな価値を創出し、地域、年齢、性別、言語等による格差なく、多様なニーズ、潜在的なニーズにきめ細かに対応したモノやサービスを提供することのできる新たな時代。

Society5 に向けた人材育成

⇒一斉授業の学校：読解力など基盤的な学力の確実な習得

⇒同一学年集団の学習：学習到達度に応じた異年齢・異学年集団へ拡大

⇒学校の教室での学習：多様な学習プログラム

Society5 に向けた「学びのあり方の改革」～取り組むべき方向性

I 「構成に個別最適化された学び」を実現する多様な学習の機会と場の提供

II 基礎的読解力、数学的思考力などの基盤的な学力や情報活用能力をすべての児童生徒が習得

III 文理分断からの脱却

『ひろしま未来チャレンジビジョン』

◎人づくりは重要政策のひとつ→4つの政策分野の好循環

人（人づくり）→暮らし（安心な暮らしづくり）→地域（豊かな地域づくり）→経済（新たな経済成長）

◎学びの変革アクション・プラン

「主体的な学び」の創造：資質・能力の育成を目指した主体的な学びを促す教育活動を推進。

県立三次中学・高等学校図書室リニューアル

生徒によるリニューアルで明るく利用しやすい図書室が完成。

指導者、教育長のコメント：三次の生徒は粘り強く、よく働く。

【所見】

時代の流れに沿った教育が求められているのはよく理解できた。

人づくりが基本にあり、人材育成の重要性がプランに組み込まれていることに共感した。

三次高等学校の生徒の働きが大きく評価されたことはとてもうれしく、地域性の表れと自負している。三次の土壌が育む気質を大切にしていきたいと思う。

